



校長の目 ～西小日々通信～

令和5年4月26日（水）



集団生活を行う上で整理整頓ができることや掃除ができることは、大切な生きる力です。一人一人が身の回りを整えることが落ち着いた学校生活につながります。写真は、6年生の下駄箱と職員室前の流し台です。下駄箱に靴のかかとをそろえて置くことは、取り出しやすいという機能面だけでなく、心を整える効果もあります。かかとをそろえることは、毎日の小さな心遣いです。一人一人が気を配ることで、全体が整い、心地の良い環境が生まれます。職員室前の流し台は、6年生が掃除をしてくれています。水場は、汚れが目立ちやすい場所です。6年生のある男子は、限られた清掃時間の中で黙々と働き、すみずみまでピカピカにしてくれました。下駄箱も流し台も、6年生の行いがみんなの手本になっています。もうすぐ1年生の清掃活動が始まります。6年生が1年生に掃除の仕方を教え、一緒に掃除を行うようになります。一つ一つの仕事に手を抜かず、最後までやり切る6年生のお兄さん、お姉さんの姿は、1年生にとってすごくかっこよく見えることでしょう。



2年生が国語で絵日記のようなワークシートに取り組んでいました。「春がいっぱい」という学習です。教科書を手掛かりに、春に関わる言葉から想像したことを話したり、探したりして、春についてのイメージを広げながら、春を感じた時の経験を文章に書きます。子供たちは、それぞれ自分が見つけたり感じたりした春をワークシートに明るい絵と文で表現していました。一見すると、まるで生活科や理科の観察のようにも見えますが、小学校では教科をまたいで関連性を持たせている教材は珍しくありません。本時であれば、国語科と生活科を横断する教材と言えます。子供たちは、「校長先生、見てみて。こんなのを見つけました。」と嬉しそうにワークシートを見せてくれました。桜、菜の花、つくし、みつばち、うぐいす、などなど、たくさんの春を見つけたようです。



6時間目は、クラブ活動がありました。本校には10のクラブ（外遊び、ミニバス、器械体操、室内遊び、卓球、図工、理科、コンピュータ、家庭科、音楽）があり、4年生以上が参加します。今日は第一回目なので、役割を決めたり、計画を立てたりしました。また、クラブ活動でどのようなことをがんばりたいか、一人一人がめあてを立てることも大事な活動の一つです。クラブ活動は、子供たちの自主的実践的態度を育成する機会です。自ら進んで活動に参加し、盛り上げていくことが大切です。

